

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	言語コミュニケーション文化研究科
大項目	9 教育研究等環境 (研究科)
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 大学院学生共同研究室の情報環境の充実を図るため、2010年度を目標にパソコンを5台増設する。	→ PC等の設備・機器の整備状況。		A			
2. 教員共同研究室の情報環境の充実のため、2010年度を目標にパソコンを2台増設する。	→ PC等の設備・機器の整備状況。		A			
3. 学生の学外での研究活動を促進するため、学会発表に関わる交通費補助制度を拡充する。	→ 学会活動支援制度の制定、実施。		A			
			☆			

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目9.0.4	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。 (説明) 教員共同研究室にデスクトップ型パソコン2台を導入し、教員の教育研究活動に関わる情報環境を改善した。学生共同研究室は本研究科生の研究、成果発表や読書会などに利用できる多目的スペースとして設置しているが、学生の研究活動を支援するための参考図書を整備することが課題である。
その他	院生の学会発表に対する交通費補助を実施することにより、研究水準の維持・向上をはかっている。

《評価指標データ》

- 専任教員の研究費(実績)【大学基礎データ】
- 専任の研究旅費【大学基礎データ】
- 学内共同研究費【大学基礎データ】
- 教員研究費内訳【大学基礎データ】
- 科研費の申請・採択件数【大学基礎データ】
- 学外からの研究費の総額と一人当たりの額【大学基礎データ】
- 外部資金等導入状況【基本的な指標データ】
- 教員の研究室の整備状況【大学基礎データ】
- 学部、研究科ごとの講義室、演習室の面積・規模【大学基礎データ】
- 学部、研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規【大学基礎データ】
- 学部、研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況【大学基礎データ】
- 留学、特別研究期間制度、自由研究期間制度の利用状況【基本的な指標データ】

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

★	小項目9.0.4	教員共同研究室にデスクトップ型パソコン2台を導入し、教員の教育研究活動を支援する環境が改善された。
	その他	

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

★	小項目9.0.4	貸出用ノート型パソコンや教員共同研究室および学生共同研究室の利用状況を見ながら、今後も設置台数を増やしていく。
	その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

★	小項目9.0.4	学生の研究活動を支援するための環境整備。
	その他	

【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

★	小項目9.0.4	学生共同研究室に専門辞書等の参考文献を設置する。
	その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★	その他 (自由記述)	
---	---------------	--

III. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○学生の研究活動を支援するための環境整備が着実に進められています。

【学内委員】

○教育研究等を支援する環境や条件整備、効果に関する記述はほとんどPCに関するものに限定されており十分でない印象を受けます。TAやRA・技術スタッフの整備などを含めたもう少し幅広い観点からの検討が望まれます。

○目標に対し着実に進展しています。

○目標に掲げている項目はほぼ達成されています。教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保といった観点からの自己点検・評価はどうでしょうか。

○現状説明の記述では、改善された事柄だけの記述であり、現状がわかりません。言語コミュニケーション研究科の環境について概略だけでもご説明ください。

○すべての目標が達成されました。確実に計画を進められたことの成果です。新たな目標の設定をお考えください。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目9.0.4

基盤評価：「専任教員に対して、研究活動に必要な研究費を支給している」「専任教員に対する研究室を整備している」

○小項目9.0.4&9.0.5

達成度評価：「教育研究を支援する環境や条件が、その整備・運用状況等から見て、方針に沿い、適切である。その際、下記事項については、当該大学の特質に応じて、適切な配慮を行っている。

・研究専念時間の設定など、教員の研究機会の保障

・ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)等の人的支援

・研究倫理に関する規程の整備、研修会の開催、学内審査機関の設置等、研究倫理を浸透させるための措置

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ 本研究科独自の教育研究支援環境は、教員共同研究室(PC5台および実験機器を備えた研究スペース)、学生共同研究室(PC5台および研究用参考資料を備えた多目的スペース)、事務室におけるPC等の貸出機器が主なものである。他研究科に設置されているような学生自習室や談話室などの施設は無い。TAやRA、技術スタッフなどの整備については、課題としては認識しているものの、予算制度上の制約があるために現状では困難な面がある。しかしながら、教育研究環境の整備は研究科の教育研究成果を向上させる上では不可欠なので、学内関連部課と調整をはかりながら、維持向上を図っていく。